

名古屋学芸大学大学院 看護学研究科 修士課程 小論文試験問題

【 設 問 】

小論文テーマ「アドヒアランスを高めるための看護支援」

問 以下の文章を読み、問いに応えなさい。

超高齢社会を迎えたわが国の疾病構造は高血圧や糖尿病をはじめとする生活習慣病（慢性疾患）が大きな割合を占めています。慢性疾患の予防および治療においては、患者自身の日々の生活上の行動の管理、すなわちセルフケアが非常に重要なものとして注目されるようになりました。服薬自己管理の評価においては、従来コンプライアンスの概念が用いられてきました。しかし、生活者としての患者の視点で、自己管理の難しさや障壁を明らかにしたアプローチへと変化する必要性が高まりました。そこで近年、用いられるようになったのが、アドヒアランスという概念です。2003 年に世界保健機関（World Health Organization ; WHO）はアドヒアランスを「医療従事者の勧めに自ら同意し、医療従事者の勧める方針と一致した行動をとっている程度」（WHO,2003）と定義しました。患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って責任を持って治療法を守るといった意味が含まれています。

慢性疾患は多くの国民が経験する身近な状況といえます。高齢者のみならず多様な生活背景を有する対象者のアドヒアランスを高めるためにどのような看護が求められているのでしょうか。800 字以内であなたの考えを述べなさい。

World Health Organization(2003) : Adherence to Long Term Therapies: Evidence for Action.

Geneva, Switzerland. www.who.int/chp/knowledge/.../adherence_introduction.pdf pdf (2025/12/12)